サイエンティフィック・システム研究会
Scientific Systems

システム技術分科会 2010 年度第 2 回会合

クラウドは安くて安全なのか？を検証する

■ **日時 ： 2011 年 1 月 31 日(月) 分科会 13:30-17:30(受付 13:00-) / 懇親会 17:45-19:00**

■ **場所 ： 汐留シティセンター 6 階 富士通株式会社 プレゼンテーションルーム**

■ **開催趣旨**

近年、急速に普及してきたクラウドとは、システム技術の観点から見ると、システム運用のアウトソース、データセンターを利用した IT リソースの安全な保管、SaaS 利用などの集大成といえる。完成度の高いクラウドにおいては、従来自組織で管理していたシステムを利用者に対してほぼ同じようにサービス提供が可能になるため、システム運用管理のオーバヘッドを大幅に削減できる可能性がある。その一方で、データは組織から地理的に持ち出さなければならない必然性があることと、セキュリティ保全の保証とが両立しない問題が常に指摘され、構造的にその本格的な導入が進まない機関が多々あるのも現状である。

このような背景のもと、システム技術分科会では、クラウドを本格的に導入してきた先駆的な機関に経済面、セキュリティ面に焦点を当てた実用的な事例報告をして頂き、さらに、クラウドの導入を検討している機関を交えたパネルディスカッションを行ない、経済的メリットとセキュリティの問題について明らかにする。本分科会ではクラウド導入についての色々な問題を明らかにすることが目的であるため、フロアからの質問にも積極的にお答えする予定である。クラウドの導入に興味のある機関の方には是非、会場にお越し頂き議論に参加して頂きたい。

■ **プログラム**(敬称略) (プログラムは予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

13:00 -	**受付**
13:30 - 13:40	[開会あいさつ] 岡村 耕二 (九州大学 情報基盤研究開発センター)
13:40 - 14:30 講演 40 分/Q&A 10 分	[講演 1] **「日大流クラウド料理法」** **日本大学 総合学術情報センター 相川 成周** 2007 年 4 月 Google Apps の日本初の大学への大規模導入としてメディアに紹介を受けた。その後 3 年以上経過し、機能拡張を行なったり、運用・管理でのトラブルやセキュリティーに関わるインシデントにも遭遇した。また Google だけではなく各種クラウドサービスを活用し費用対効果の高い情報サービスの充実を行なっている。これらの事例紹介とともにクラウドの料理法を紹介する。
14:30 - 15:20 講演 40 分/Q&A 10 分	[講演 2] **「福岡大学における電子メールクラウドサービスの活用事例」** **福岡大学 総合情報処理センター 藤村 丞** 福岡大学では平成 22 年 10 月に第四世代目となる新教育研究システム (FUTURE4 : Fukuoka University Telecommunication Utilities for Research and Education Ver.4) の運用を開始した。FUTURE4 では、PC を学内 LAN に接続する際に安全性を確認するシステムとして認証・検疫システムの導入やグループ学習が行える PC 教室など、新たなシステムを数多く取り入れているが、電子メールシステムについてはクラウドサービスを利用することとした。本発表では、この電子メールシステムの導入経緯や既に運用中の統合認証システムとの認証連携、運用における問題点などについて述べる。
15:20 - 15:40	休憩
15:40 - 16:30 講演 40 分/Q&A 10 分	[講演 3] **「クラウドコンピューティングの最新動向とテクノロジー」** **株式会社セールスフォース・ドットコム 内田 仁史** 株式会社セールスフォース・ドットコムは、企業向けクラウドサービス専業企業の米 salesforce.com 社の日本法人として 2000 年に設立され、今年で 10 周年を迎えています。世界で 87,200 社、日本でも多数の官公庁・地方自治体から、中小企業、個人事業主まで、数千社の顧客を獲得しています。 サービス内容としては、クラウド型 CRM アプリケーション Salesforce CRM、アプリケーションの基盤となるクラウド型プラットフォーム Force.com、導入支援コンサルティング / トレーニングサービスなどの提供を行っており、パブリッククラウドの代表選手として注目を集めています。 そこで、本講演ではクラウドコンピューティングの最新事情について、エコポイント、郵便局や損保ジャパン様など具体的な事例を交えながら紹介するとともに、ハードやソフトが不要という以外に大規模導入が進んでいる理由は何か、各社の厳しいセキュリティ要件をどのようにクリアされたのか紹介します。

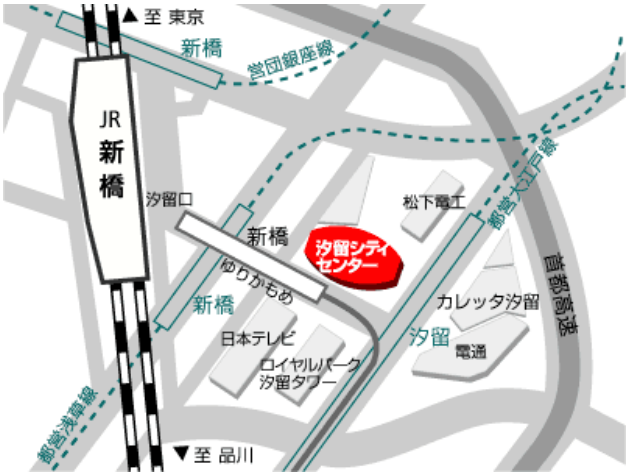
16:30 － 17:20 50 分	［パネルディスカッション(座談会)］ **「クラウド導入にあたっての課題と対応（推進派と慎重派）」** ・コーディネータ：**情報セキュリティ大学院大学　原田 要之助** ・パネリスト　　：**日本大学 総合学術情報センター　相川 成周** **福岡大学 総合情報処理センター　藤村 丞** **株式会社セールスフォース・ドットコム　内田 仁史** **大分大学 学術情報拠点情報基盤センター　吉田 和幸**
17:20 － 17:30	［閉会あいさつ］　岡村 耕二（九州大学 情報基盤研究開発センター）
17:30 － 17:45	休憩・懇親会準備　(ﾆｭｰｽﾚﾀｰ編集会議:講演者/企画委員/NL 委員)
17:45 － 19:00	**懇親会**　(会費 ¥500) お飲物とおつまみの簡易パーティです。お気軽にご参加下さい。会費は当日受付にて申し受けます。

■ 会場へのアクセス

汐留シティセンターの１階ロビーにある受付に立ち寄る必要はございません。エレベーターホールは低層階用をご利用いただきたく、１階受付向かって一番右奥のエレベーターホールから６階に上がり、「User Community Salon」と記載されている扉からお入り下さい。受付がありますのでお立ち寄りいただき、Guest Card をお受取り下さい。

<<電車でのアクセス>>

- **JR 新橋駅**
  汐留口(地下１階)から徒歩３分
- **東京メトロ 銀座線 新橋駅**
  出口４（地下１階）から徒歩３分
- **都営地下鉄 浅草線 新橋駅**
  汐留方面出口（地下１階)から徒歩２分
- **都営地下鉄 大江戸線 汐留駅**
  JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口(地下２階)
  から徒歩１分
- **新交通ゆりかもめ 新橋駅**
  出口 1D から徒歩１分



<<羽田空港から新橋駅までのアクセス>>

- **東京モノレールと JR 山手線**
  羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅（所要時間約 30 分）
- **京浜急行と都営浅草線（直通電車）**
  羽田空港 から 都営浅草線新橋駅（所要時間約 30 分）

■ ご参加について

参加対象　：　SS 研、IS 研、CS 研の各会員機関の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
参 加 費　：　分科会：無料 / 懇親会：¥500

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。
http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/activity/sectionmeeting/stg/2010-2/program.html

【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会（SS 研）事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通(株) SS 研究会推進部内
TEL：03-6252-2582(直通)　　FAX：03-6252-2798
Email:office@ssken.gr.jp　　URL http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/